

地域名	作物名	作型 その他	品種名	栽植 様式	作型模式図												目標 収量 (kg)	要素	基肥	追肥(kg) (回)		要素 合計	備考	
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				1	2			
高冷 (標高 700m 以上)	水稻	稚苗機械 植 中苗機械 植	ユメコガネ	cm cm 30×14												480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6~7 10 8	2~3 - 2~3	- - -	8~10 10 10~11	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を前年秋から早春にかけて1t施用する。移植前1カ月以内に施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・標高800m以上は中苗植とする ・ユメコガネは標高800m以上、ふゆげしきは700~850mの地帯に適する。 		
			ふゆげしき						x									N P ₂ O ₅ K ₂ O	6~7 10 8	1.5 - 2~3	- - -		7.5~8.5 10 10~11	
			タツミモチ																N P ₂ O ₅ K ₂ O	4~5 10 8	- - -		- - -	4~5 10 8
山間 (標高 400~ 700m)		稚苗機械 植中苗機 械植	コシヒカリ	cm cm 30×14												500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4~5 9 7	1 - 1	0.5~1 - 0.5~1	5.5~7 9 8.5~9	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を前年秋から早春にかけて1t施用する。移植前1カ月以内に施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・コシヒカリは標高500m以下、峰ひびきは300~700m、ひとめぼれは200~600m、ヒメノモチは250~700mの地帯に適する。 		
			峰ひびき	cm cm 30×14													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 9 7	2~3 - 2~3	- - -		7~9 9 9~10	
			ひとめぼれ	cm cm 30×14														500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 9 7	2 - 2		- - -	7~8 9 9
			ヒメノモチ	cm cm 30×14														450	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4~5 9 7	1.5~2 - 1.5~2		- - -	5.5~7 9 8.5~9
中間 (標高 200~ 400m)		稚苗機械 植中苗機 械植	コシヒカリ	cm cm 30×15												480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~4 9 7	1 - 1	0.5~1 - 0.5~1	4.5~6 9 8.5~9	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を前年秋から早春にかけて1t施用する。移植前1カ月以内に施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・コシヒカリは標高400m以下、峰ひびきは300~400m、ひとめぼれは200~400m、ヒメノモチは250~400mの地帯に適する。 ・群馬糯5号は標高350m以下の地帯に適する。 		
			峰ひびき	cm cm 30×15													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 9 7	2~3 - 2~3	- - -		7~9 9 9~10	
			ひとめぼれ	cm cm 30×15														500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 8 7	2 - 2		- - -	7~8 8 9
			群馬糯5号	cm cm 30×15														500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 8 7	2 - 2		- - -	7~8 8 9
			ヒメノモチ	cm cm 30×15														450	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4~5 9 7	2 - 2		- - -	6~7 9 9
平坦 (標高 200m 以下)		中苗機械 植 普通期	ゴロピカリ 朝の光 あさひの夢	cm cm 30×15												500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 8 7	2~3 - 2~3	- - -	7~9 8 9~10	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を前年秋から早春にかけて1t施用する。移植前1カ月以内に施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 		
			月の光	cm cm 30×15													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6~7 8 7	2~3 - 2~3	- - -		8~10 8 9~10	

地域名	作物名	作型 その他	品種名	栽植 様式	作型模式図												目標 収量 (kg)	要素	基肥	追肥(kg) (回)		要素 合計	備考
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				1	2		
平坦 (標高 200m)	水稻	中苗機械 植	さわびかり	cm cm 30×15						x							480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 8 7	2 - 2	- - -	7~8 8 9	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を前年秋から早春にかけて1t施用する。移植前1カ月以内に施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・直播栽培は緩効肥料を用い追肥回数を少なくした
		普通期	群馬糯5号	cm cm 30×15						x							460	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 8 7	2 - 2	- - -	7~8 8 9	
		乾田直播	朝の光 月の光	30cm条 播(3~ 4kg播)														500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~4 10 10	2~3 - 2~3	2~3 - 2~3	
東部 平坦 100m 以下)		早期 早植	コシヒカリ	cm cm 30×15					x							500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	2~4 8 7	1~1.5 - 1~1.5	0.5~1 - 0.5~1	3.5~6.5 8 8.5~9.5	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を前年秋から早春にかけて1t施用する。移植前1カ月以内に施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・湛水直播はカルパーを種子粉衣しては種する 	
		湛水直播	月の光	散播 (3kg播)													500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~4 10 10	2~3 - 2~3	2~3 - 2~3		7~10 10 14~16
山間~ 中間	陸稻	慣行栽培	トヨハタモチ	60cm条 播 (3kg播)												350	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~4 8 7	1.5~2 - -	1.5~2 - -	6~8 8 7	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を前年秋から早春にかけて1t施用する。移植前1カ月以内に施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・早ばつ時に第2回目の追肥はやめる。 ・トヨハタモチは標高700m以下の平坦、中山間地帯に適する ・ゆめのはたもちは標高200m以下の平坦値に適する。 ・ゆめのはたもちは窒素肥料をやりすぎないように注意する。 	
平坦		慣行栽培	トヨハタモチ	60cm条 播 (3kg播)												350	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~4 8 7	1.5~2 - -	1.5~2 - -	6~8 8 7		
			ゆめのはたもち	60cm条 播 (3kg播)													350	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~4 8 7	1.5~2 - -	1.5~2 - -		6~8 8 7
		畑灌栽培	トヨハタモチ	60cm条 播 (3kg播)												400	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4~5 10 9	1.5~2 - -	1.5~2 - -	7~9 10 9		
			ゆめのはたもち	60cm条 播 (3kg播)													400	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4~5 8 7	1.5~2 - -	1.5~2 - -		7~9 8 7
高冷 ~ 山間	小麦	慣行栽培	シラネコムギ	60cm条 播 (8kg播)											460	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6~7 12 10	2 - -	- - -	8~9 12 10	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を播種前に10a当たり1~1.5t施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・追肥は生育状況に応じ茎立期前に行う。 ・シラネコムギは標高350m以上の地帯に適する。 		
中間		ドリル播	農林61号	20~30 cm条播 (10kg 播)											480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6~7 12 10	2 - -	- - -	8~9 12 10			
平坦			農林61号	20~30 cm条播 (10kg 播)												500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6~7 13 11	2 - -	- - -		8~9 13 11	

地域名	作物名	作型 その他	品種名	栽植 様式	作型模式図												目標 収量 (kg)	要素	基肥	追肥(kg) (回)		要素 合計	備考	
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				1	2			
平坦	小麦	ドリル播	つるぴかり きぬの波	20~30 cm条播 (10kg 播)	[Diagram: sowing in June]												500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	7~8 13 11	2~3 - -	- - -	9~11 13 11	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を播種前に1~1.5t施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・追肥は生育状況に応じ茎立期前に行う。 ・ダブル8号は畑地及び黒ボク土水田に作付けることとし、2回目の追肥は生育をみておこなう。前作に留意し施肥量を加減する。 	
			ダブル8号	20~30 cm条播 (10kg 播)	[Diagram: sowing in June]												500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6~7 13 11	2~4 - -	2~4 - -	10~15 13 11		
		散播	農林61号	散播 (12~15 kg播)	[Diagram: sowing in June]												500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	6~7 13 11	2 - -	- - -	8~9 13 11		
			つるぴかり きぬの波	散播 (12~15 kg播)	[Diagram: sowing in June]												500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	7~8 13 11	2~3 - -	- - -	9~11 13 11		
	ビール 大麦	慣行栽培	きぬか二条 なす二条 あまぎ二条 ミカモゴールド デン	60cm条 播 (8kg播)	[Diagram: sowing in June]												450 ~ 480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 9 9	- - -	- - -	5~6 9 9	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を播種前に1~1.5t施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・追肥は原則として行わない。 ・あまぎ二条、ミカモゴールドは窒素の少ない方をとる ・縞葉枯病発生地帯は抵抗性品種を作付する 	
		ドリル播		20~30c m条播 (10kg 播)	[Diagram: sowing in June]												450 ~ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~7 13 11	- - -	- - -	5~7 13 11		
		散播		散播 (~ kg播)	[Diagram: sowing in June]												450 ~ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~7 13 11	- - -	- - -	5~7 13 11		
	六条大 麦	慣行栽培	シュンライ すずかぜ 関東皮78号	60cm条 播 (8kg播)	[Diagram: sowing in June]												450 ~ 480	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~6 9 9	2~3 - -	- - -	7~9 9 9	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を播種前に1~1.5t施用した場合、基肥窒素を1~2kg減肥する。 ・追肥は生育状況に応じ茎立期前に行う。 ・シュンライは水田の作付に限る。 ・硬質粒の発生を抑制するため、土壤水分が低くなりやすいほ場では追肥を控える。 ・すずかぜ、関東皮78号は畑地での作付とする。 	
		ドリル播		20~30c m条播 (10kg 播)	[Diagram: sowing in June]												450 ~ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~7 13 11	2~3 - -	- - -	7~10 13 11		
		散播		散播 (13~15 kg播)	[Diagram: sowing in June]												450 ~ 500	N P ₂ O ₅ K ₂ O	5~7 13 11	2~3 - -	- - -	7~10 13 11		
	高冷 ~ 山間	大豆	普通 (単作)	オオツル ハタユタカ 玉大黒	畦間60 ~70cm 播種量8	[Diagram: sowing in October]												300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	2~4 8~10 8~10	- - -	- - -	2~4 8~10 8~10	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥を播種1カ月以上前に1~1.5t施用する。播種前の未熟堆肥の施用はタネバエの発生を助長するので避ける。 ・オオツルは倒伏しやすいため本数は10%程少なくする ・タチナガハは多い方とする ・玉大黒は標高200m以上の中間地帯とする。
	中間		普通 (単作)	オオツル タチナガハ ハタユタカ 玉大黒	千~12 千本/10 a	[Diagram: sowing in October]												300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~5 8~10 8~10	4~5 - -	- - -	7~10 8~10 8~10	

地域名	作物名	作型 その他	品種名	栽植 様式	作型模式図												目標 収量 (kg)	要素	基肥	追肥(kg) (回)		要素 合計	備考
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				1	2		
平坦	大豆	晩播 (麦後)	タチナガハ ハタユタカ	畦間60 ~70cm 播種量 10千~ 15千本 /10a													300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~5 8~10 8~10	4~5 - -	- - -	7~10 8~10 8~10	・たい肥を播種1カ月以上前に1~1.5t施用する。播種前の未熟堆肥の施用はタネバエの発生を助長するので避ける。
全地域	小豆	夏小豆 秋小豆	大納言 早生大粒 中納言 小納言 金時	cm cm 60×20													150	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~4 8~10 8~10	- - -	- - -	3~4 8~10 8~10	・夏小豆は播種期の早い方をとる
全地域	ハトム ギ	直播	岡山系 中里系	60~70c m条播													300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4 7 7	4 1.5~2 1.5~2	4 1.5~2 1.5~2	12 10~11 10~11	・たい肥を前年秋から早春にかけて1t施用する。
		晩植 麦あと移 植栽培	岡山系 中里系	60+30× 18cm														300	N P ₂ O ₅ K ₂ O	4 8 8	4 1.5~2 1.5~2	4 1.5~2 1.5~2	12 11~12 11~12
高冷地	ソバ	夏まき (秋そば)	在来種 信州一号	30~60 cm条播 (4~5kg)													100	N P ₂ O ₅ K ₂ O	3~4 5~6 5~6	- - -	- - -	3~4 5~6 5~6	・たい肥を前年秋から早春にかけて1t施用する。 ・水田転作は排水対策を講じる。
中間 平坦		夏まき (秋そば)	信濃一号 在来種 常磐秋そば 信州大そば	30~60 cm条播 (4~5kg)														100	N P ₂ O ₅ K ₂ O	2~3 4~5 4~5	- - -	- - -	2~3 4~5 4~5